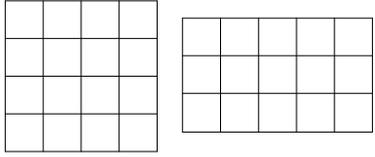
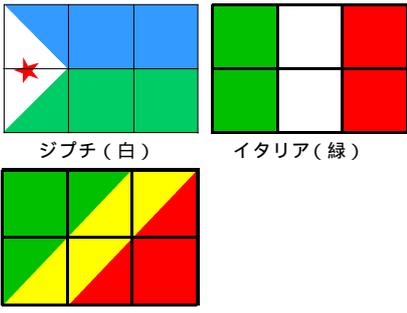
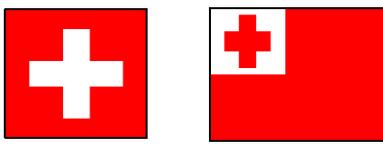
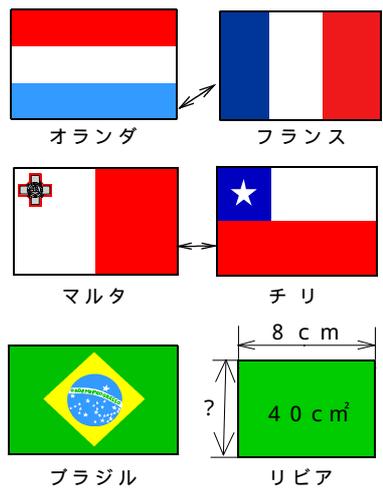
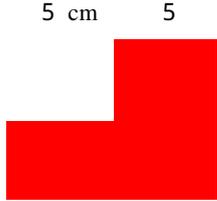
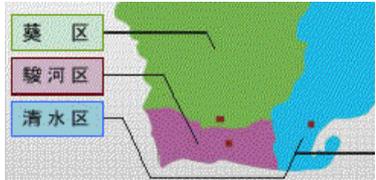


(2) 単元構想図 (1 1時間扱い本時は6時間目、 数字は指導書の時間数)

目 標	教師の働きかけと予想される児童のあらわれ	
<p>面積も、長さやかさと同じように、単位量のいくつ分かで表されることが分かる。 時 p 4</p>	<p>床の四角マスが [4 × 4] のスイス国と [3 × 5] のトンガ国では、どちらの方が広い国だと言えるでしょうか？</p> <p>・直接比較...用紙を切って比べてみる。 ・間接比較...マス目の数で比べる。</p> <p>何かのいくつ分かで調べるとよさそうだ</p>	<p>教室の床のマス目を利用する</p>  <p>スイス国 トンガ国</p>
<p>面積の単位 $c\ m^2$ を知り、単位面積をもとにして面積を求めることができる。形が変わっても、面積は変わらない場合があることがわかる。 時 p 6</p>	<p>次の面積は何 $c\ m^2$ でしょうか。 色のついた部分の面積は何 $c\ m^2$ でしょうか。</p> <p>・ $1\ c\ m^2$ の数を数える。 ・ $1\ c\ m^2$ の形に直してから、$1\ c\ m^2$ を数える。</p> <p>面積は $1\ c\ m^2$ のいくつ分で数えることができる</p>	 <p>ジブチ (白) イタリア (緑)</p> <p>コンゴ (緑)</p>
<p>辺の長さの数値と、$1\ c\ m^2$ の正方形の数が対応していることに気づき、辺の長さを利用して計算で面積を求める方法を考えることができる。 時 p 9</p>	<p>マス目がない国旗 (紙に印刷されたもの) だったら、どちらがどれだけ広いでしょうか？</p> <p>・間接比較...積み木 (1 cm) を置ける数 ・普遍単位...縦 × 横の長さ</p> <p>置けた積み木の数を計算式で表せないか？</p> <p>広さは、縦 × 横で表すことができるんだ</p>	 <p>スイス トンガ</p>
<p>必要な辺の長さを測り、求積公式を的適切に用いて長方形、正方形の面積を求めることができる。また、求積公式を利用して辺の長さを求めることができる。</p> <p>面積の公式の有用さに気づき、身の回りの正方形や長方形の面積を求めるのに公式を使おうとする。 時 p 10</p>	<p>いろいろな形の面積 (色ごと部分の面積) を求めてみよう。また面積と横の長さから、縦の長さを求めよう。</p> <p>・オランダとフランスは、どの色も同じ面積だ ・マルタの赤とチリの赤の大きさを比べよう ・チリの青色 (正方形) ・ブラジルの黄色 (斜めになった正方形) ・リビアの縦の長さは、縦 = 面積 ÷ 横</p> <p>だんだん分かるようになってきたよ。</p>	 <p>オランダ フランス</p> <p>マルタ チリ</p> <p>ブラジル リビア</p>

<p>複合図形の面積が、長方形や正方形の和や差で求められると考えることができる。 時 p 1 1</p>	<p>トンガ国の赤色部分を求めよう。</p> <p>A...いくつかに分けて考える方法(足し算) B...同じ形に分けて考える方法(かけ算) C...足りない所を埋めて考える方法(引き算) D...形を変えて考える方法(長方形に変形)</p> <p>面積を解く方法はいくつかありそうぞ。</p>	 <p>5 cm 5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>Aの場合 $4 \times 10 + 4 \times 5$</p>
<p>複合図形の面積の求め方にはいろいろな方法があることを知り、友だちの考え方のよさを認め合うことができる。(本時) 時 p 1 2</p>	<p>スイス国の十字部分の面積を求めよう。</p> <p>(1) 前時の複合図形の求め方を発表し合う。 (2) 見つけた方法を分類していく。 (3) 練習問題を解く。自分のやり方と友だちのやり方の二通りで解いてみる (4) 認め合っていく。</p> <p>ぼくは初め でやったんだけど、 くんの方法もなかなかいいと思いました。どんなところがよかったかということ です。</p>	 <p>正方形が5つある 各辺の長さは5 cm</p> <p>Aの場合 $5 \times 15 + 5 \times 10$ Bの場合 $5 \times 5 \times 5$ Dの場合 5×25</p>
<p>長方形、正方形、複合図形の面積を求めることができる。</p>	<p>国旗の色別面積ワールドカップの開催です。一番広いのはどこだろうか。</p> <p>オマーン : 2つに分ける、白と緑を引く フィンランド : 3つに分ける、白を4つ引く モルディブ : 4つに分ける、中央の緑を引く</p> <p>長方形や正方形に分けて計算できる。 大きい長方形から中の形を引けば計算できる。</p>	<p>オマーンの赤 120 cm^2</p>  <p>フィンランドの水色 104 cm^2</p>  <p>モルディブの赤 144 cm^2</p> 
<p>$1 \text{ m}^2 = 10000 \text{ cm}^2$ であることがわかる。 k m^2とm^2の関係が分かる。 時 p 1 3</p>	<p>大きなスイス国の国旗 (1 m^2) の上に何人乗れるかやってみよう。自分の足の面積から、1 m^2は何cm^2になるのか予想しよう。</p> <p>・足の面積 \times 人数 ・ $100 \times 100 = 10000 \text{ cm}^2$</p> <p>$1 \text{ m}^2$というのは、かなり広いんだな。</p>	
<p>広さに応じて面積の単位を使い分けることができる。 時 p 1 5</p>	<p>教室の広さや駿河区の広さを計算してみよう。使う単位は、mとkmのどちらがいいだろう?</p> <p>・ mよりも大きなkmがいいんじゃないか</p> <p>広さによって、単位も変えた方がいいな。</p>	
<p>学習内容の定着をはかる。 時 p 1 6</p>	<p>練習問題・力だめしをしよう</p>	<p>教科書 p 1 6 , p 1 7</p>